

新居浜工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	時事英語
科目基礎情報					
科目番号	101790		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	生物応用化学科		対象学年	5	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	Meet the World - English through Newspapers 2020 若有保彦編著 (成美堂) Duo 3.0 (アイ・シー・ピー)				
担当教員	佐渡 一邦				
到達目標					
1 英字新聞の特徴と読み方を把握する。 2 英字新聞でよく使われるフレーズや語彙を習得する。 3 英字新聞の記事を理解し、その内容をクリティカルな思考でとらえる。 4 社会で起こっている様々な出来事に興味を持つ。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	英字新聞の特徴と読み方を熟知している		英字新聞の特徴と読み方がある程度把握している		英字新聞の特徴と読み方を熟知していない
評価項目2	英字新聞でよく使われるフレーズや語彙を理解し、活用することができる		英字新聞でよく使われるフレーズや語彙を理解することができる		英字新聞でよく使われるフレーズや語彙を理解することができない
評価項目3	新聞記事の内容を理解するだけでなく、それをクリティカルな思考でとらえることができる。		新聞記事の内容を理解することができる		新聞記事の内容を理解することができない
評価項目4	社会で起こっている様々な出来事に興味を持ち、自分なりの意見を述べるができる		社会で起こっている様々な出来事に興味を持つことができる		社会で起こっている様々な出来事に興味を持つことができない
学科の到達目標項目との関係					
自己表現 (C)					
教育方法等					
概要	英字新聞日本の代表的英字新聞の一つであるThe Japan News紙から抜粋した国内外の記事を講読。英字新聞を読みながら文中の単語・熟語・構文を習得していく。科学技術や産業、健康、文化、歴史についての記事を読むことで世界情勢に対する視野を広げながら、英文読解の能力を高めていくことを目指す。				
授業の進め方・方法	単語・連語・構文に注意しながらテキストの講読を行う。While readingとAfter readingで内容を把握する。				
注意点	学修単位科目であるので、90時間－講義時間以上の自学自習を必要とする。したがって、科目担当教員が課した課題のうち {(90時間－講義時間)×3/4} 時間以上に相当する課題提出がないと単位を認めない。自学自習課題はDUO 3.0の学習とする。 必ず授業の準備をして授業に臨むこと(わからない単語の意味を調べる。本文を読んで大筋を理解する)。 授業には英和辞書を必ず持参すること。Duo 3.0を使用した学習を習慣づけ、語彙力の強化に努めること。 関連科目：英語1、英語2A、英語2B、国際理解				
本科目の区分					
Webシラバスと本校履修要覧の科目区分では表記が異なるので注意すること。 本科目は履修要覧の「④選択科目」である。					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	英字新聞について・Unit 1 Japanese companies in rural areas facing difficulty in hiring graduates	1,2,3,4	
		2週	Unit 1 Japanese companies in rural areas facing difficulty in hiring graduates	1,2,3,4	
		3週	Unit 2 Foreign visitors go on record shopping spree	1,2,3,4	
		4週	Unit 2 Foreign visitors go on record shopping spree	1,2,3,4	
		5週	Unit 3 Niigata rice exports to China start	1,2,3,4	
		6週	Unit 3 Niigata rice exports to China start	1,2,3,4	
		7週	Unit 4 India plans manned space mission by 2021	1,2,3,4	
		8週	中間試験		
	2ndQ	9週	試験返却・Unit 4 India plans manned space mission by 2021	1,2,3,4	
		10週	Unit 5 Saudi teenagers ‘under the care’ of U.N. agency	1,2,3,4	
		11週	Unit 5 Saudi teenagers ‘under the care’ of U.N. agency	1,2,3,4	
		12週	Unit 6 Shenzhen switches to electric taxis	1,2,3,4	
		13週	Unit 6 Shenzhen switches to electric taxis	1,2,3,4	
		14週	Unit 7 Frog calls may help improve telecom technology	1,2,3,4	
		15週	Unit 7 Frog calls may help improve telecom technology	1,2,3,4	
		16週	期末試験		
後期	3rdQ	1週	Unit 8 Japan to power fishing boats with Toyota’s hydrogen fuel cells	1,2,3,4	

		2週	Unit 8 Japan to power fishing boats with Toyota's hydrogen fuel cells	1,2,3,4
		3週	Unit 9 Study: Greenland ice melting four-fold faster than decade ago	1,2,3,4
		4週	Unit 9 Study: Greenland ice melting four-fold faster than decade ago	1,2,3,4
		5週	Unit 10 Domestic firms eye Africa's geothermal power sector	1,2,3,4
		6週	Unit 10 Domestic firms eye Africa's geothermal power sector	1,2,3,4
		7週	Unit 11 Female birds prefer smarter partners	1,2,3,4
		8週	中間試験	
	4thQ	9週	試験返却・Unit 11 Female birds prefer smarter partners	1,2,3,4
		10週	Unit 12 Auto tech shifting focus to user experience	1,2,3,4
		11週	Unit 12 Auto tech shifting focus to user experience	1,2,3,4
		12週	Unit 13 Labor shortages force industry reforms	1,2,3,4
		13週	Unit 13 Labor shortages force industry reforms	1,2,3,4
		14週	Unit 14 Conservation work on Tutankhamun tomb unveiled	1,2,3,4
		15週	Unit 14 Conservation work on Tutankhamun tomb unveiled	1,2,3,4
		16週	期末試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15

				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
評価割合						
			試験	発表・提出物・小テスト	合計	
総合評価割合			70	30	100	
基礎的能力			70	30	100	